

おくじ

- 2 6月定例会の概要、議案審議
- 6 一般質問
- 12 常任委員会等の活動報告ほか
- 13 行政視察報告ほか
- 14 請願・意見書審査
- 15 政務活動費執行状況
- 16 ちよつと一言、議会の動きほか

はなまき市議会だより

花の風

第80号

令和6年8月1日

議案審議

可決 新花巻図書館建設候補地選定をめぐって議論

新花巻図書館建設候補地選定に係る意見集約運営業務委託料 992万2千円や低所得者支援および定額減税補足給付金への対応など、13億6536万7千円を追加補正し、令和6年度一般会計歳入歳出予算の総額をそれぞれ565億1869万1千円とするもの。

質疑

- **質問**…業者選定方法としているプロポーザル方式(*)はなかなか理解できないという市民の声があるが。
- **答弁**…新図書館の建設候補地について市民の意見を聞く場、意見集約の場を設けるため、事業者意見集約の方法を提案してもらう。
- **質問**…1000万円近いお金で委託しなくても意見集約は職員直営で可能ではないか。
- **答弁**…市の職員も相当程度できるが、本当の専門家ではないことから、事業者委託しようとするもの。



反対討論

【伊藤盛幸 議員】
一般会計補正予算(第2号)について、図書館費の業務委託料として計上されている992万2千円に反対する。
議案審議の中で業務委託ではない方法も探りたい旨の答弁もあったことから、業務委託料を削除した補正予算を提案するよう求めるものである。

【久保田彰孝 議員】
新図書館の建設候補地の意見集約は公募プロポーザル方式による選定としているが、市民からはプロポーザル方式は理解できない、花巻駅前か総合花巻病院跡地の二者択一なのだから、もっと分かりやすい方法がないかとの意見があり、反対する。

賛成討論

【藤根清 議員】
現在、市は平成29年に作成の新花巻図書館整備基本構想に基づき、基本計画を策定中である。建設候補地は花巻駅前か総合花巻病院跡地に絞られ、事業費、イメージ図等比較資料作成は10月中旬の完成である。新図書館は利用し易く、市街地再生に資する施設として、将来は市民に活力と希望の未来をもたらすものであるが、場所選定は多くの市民の意見を聞き、集約し市民主体に進める必要があることから補正予算に賛成する。

【阿部一男 議員】
新花巻図書館建設候補地選定にあたり、プロポーザル方式でファシリテーターを配置するなど、より公平な市民の意見を集約するための予算が盛り込まれている。10月15日には、建設候補地比較調査業務委託も完了し、調査結果に基づき、悔いのない新図書館建設場所選定を進めるものであり、賛成する。

*プロポーザル方式：業務の委託先を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

6月定例会 提出された22議案を可決

令和6年第2回花巻市議会定例会は6月7日開会、6月25日までの19日間の日程で開かれました。6月10日、13日、14日の一般質問に15人が登壇し、市政課題について質問しました。

6月18日の議案審議では、令和6年度花巻市一般会計補正予算(第2号)などの21議案を原案のとおり可決し、4件の専決処分承認と4件の報告のほか、花巻市農業委員会委員の任命については24人の委員について、花巻市固定資産評価員の選任については1人の評価員について同意しました。

最終日の6月25日には、令和6年度花巻市一般会計補正予算(第3号)が追加提案され、原案のとおり可決しました。

また、文教福祉常任委員会で審査した請願3件のうち2件が採択、1件が不採択となったほか、意見書案1件を賛成多数で可決しました。

主な可決議案や質疑は、次のとおりです。



審議の様子はこちら

可決 令和6年度花巻市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

国民健康保険システム改修等に係る歳入歳出予算の補正で、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に対応するため、国民健康保険システムの改修経費および資格確認書の作成に係る経費を追加するもの。

質疑

- **質問**…マイナ保険証(*)を持っていない方は12月2日以降、資格確認書の発行に申請が必要なのか、市の方から直接該当者に発行されるのか伺う。
- **答弁**…原則申請とはなっているが、職権で市より送付する方向で検討している。
- **質問**…ある医療機関に「マイナ保険証を持っていない場合、12月2日以降は現在使用の保険証を持参、ただし有効期限は1年」と厚生労働省のポスターが表示されていたが、どうなっているのか。
- **答弁**…現在の健康保険証は10月1日に更新され、有効期限は1年となる。期間については検討中だが、12月2日以降も有効期限が残っていることになるため、その間は保険証として使える。

【表紙写真について】

撮影者 花巻写真協会 福盛田美奈子さん
題名 湖畔の花園
内容 田瀬湖畔に住む友人宅のお庭を拝見しに伺った折、夏空の白い雲と神秘的な青い湖水のほとりに、色とりどりの花々が華麗に咲きほこっていました。感動してシャッターを切った田瀬湖の風景です。

*マイナ保険証：マイナンバーカードを自身の保険証として利用し、保険医療機関において保険資格確認を可能とするもの。

承認 花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る限度額を 22 万円から 24 万円に改めるもの。

質疑

●質問…花巻市国民健康保険税条例の一部を改正することによる対象世帯数と影響額について伺う。

答弁…今回の改正に伴い、影響を受ける世帯数は44世帯、影響額は77万9千円となる。



反対討論

【照井明子 議員】

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について、賦課限度額の後期高齢者支援金を22万円から24万円に改める内容だが、必ずしも暮らしに余裕がある方々ばかりではない。国の改正による専決処分だが、負担の公平性を図るためなら、全国市長会が要望した均等割の廃止、地方への1兆円の財源支援を国は一番先に行うべきであり反対する。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 46	花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
議案 66	令和 6 年度花巻市一般会計補正予算（第 2 号）
請願 5	現行の健康保険証を残すことを求めることについて
請願 6	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025 年度政府予算に係る意見書の提出を求めることについて
意見書案 3	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合の引き上げを求める意見書の提出について

会派名	明和会					はなまき市民クラブ			緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない		審議結果							
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三	若柳良明		阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願 5	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
請願 6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書案 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

可決 桜台小学校長寿命化改良工事について

桜台小学校長寿命化改良（建築）工事の請負変更契約の締結に関し、一部を変更するもの。

質疑

●質問…なぜ契約を一部変更し増額になったか伺う。

答弁…当議案は令和5年6月22日に専決処分をした桜台小学校長寿命化改良工事の請負契約の一部変更である。地方自治法および花巻市議会の議決に付すべき契約および財産の取得の規定により、議会の議決を求めるもの。変更内容は契約金額の6億3175万2千円に1118万7千円増額し、6億4293万9千円とする。本校舎棟南側の外壁および内装部分の劣化で追加補修が必要なため。

●質問…当局は劣化進行を把握できなかったか。

答弁…当初、目視調査したが、その後テストハンマーによる打診等の結果判明した。



可決 花巻市過疎地域持続的発展計画の変更に関し議決を求めることについて

花巻市過疎地域持続的発展計画に、新たに事業を追加および同計画の一部を変更するもの。

質疑

●質問…花巻市過疎地域の県外流出者の流出状況調査は行われているか伺う。

答弁…特定の調査は行っていないが、年代別の増減数から見ると、18歳から24歳までの転出が非常に多くなっている。また大学進学と大学卒業後の就職において県外流出者が多い状況である。



第100回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたる地方自治への功勞に対し、照井明子議員が在職25年以上として表彰されました。また、藤原議長は全国市議会議長会の社会文教委員会委員を務めたことから感謝状が贈呈されました。
(写真右から)
照井明子 議員
藤原伸 議長

全国市議会議長会から
表彰および感謝状贈呈

一般質問

市としても市民が受ける迷惑を放置できない。事業者、県をはじめ必要な場合は受益者とともに、当該製場を原因とする悪臭の根本的な解決、施設の老朽化対策を含め、一定の支援をすることは大いに考えられる。しかし、市からの搬入は全体のわずか0.7%であり、基本的にはまず県が責任をもって主導的に解

悪臭に悩む市民を守るため、県や市による悪臭対策への財政支援が必要と考えるが市の見解を伺う。

悪臭対策について



照井 省三 議員

利用者やその家族から介護サービスに関する苦情があった場合は事実確認や指導助言を行うとともに、市指定の事業所については、必要に応じて監査を行い、改善を求めめる等、適切な対応に努める。業者が悪質で調査や指導が困難な場合、申立人が国保連(※)での対応を求めることができ

高齢者施設の苦情対応について

決にあたるべきと考え



久保田彰孝 議員

食料生産基盤としての農地を維持するためには農業者が農業で十分な収益を得ることが重要だと考える。水稲と小麦・大豆等のブロックローテーションの推進や、畑地化促進事業による畑地拡大支援などが食料自給率向上に寄与するものと考え

農業について

安定した食料供給のためには、食料自給率の向上が欠かせない。食料自給率向上対策についての考えを伺う。

自衛隊への情報提供について

制度を導入する市が全国で増加している。県内でも令和6年度には14市のうち、半数の7市が導入しており、県内においては例外的ではなくなってきた。本市としても、制度を導入すべき状況を整ってきていると判断しており、令和7年度から導入する方針で準備をしている。

自衛隊への情報提供について

自衛隊への個人情報提供にあたって、名簿等の提出を望まない人への配慮として除外申請制度を設けることについて伺う。

悪臭公害対策について



高橋 修 議員

悪臭公害対策について

矢沢地域を中心に50年の長きに渡り、基準値を超えて悪臭を発生させ続けている事業者に対し改善命令を発令する考えはないか伺う。

現在は追加対策の効果検証を行いながら、オゾン脱臭設備の改良や運用について指導しているほか、市の改善勧告に対してその効果が十分見られないものの対策を講じている現状であり、直ちに改善命令を発するのではなく、計画した対策の効果をもっと見ることが必要かと考えている。

産後ケア事業について

産後ケア宿泊型サービスの設置については、現在の委託先である「まんまるママいわて」と必要な施設の規模や人員確保等の課題検討など実施に向け準備を進めている。また、分娩待機は研究を進めていく。福祉避難所は、二次的な避難所であり、個別に相談し対応していく。



一般質問

6月定例会では、15人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

Table with 2 columns: Councilor Name and Question Number/Content. Includes councilors like Terui Shiro, Kubota Takayuki, Takahashi Osamu, etc.

Information box containing: 一般質問とは (General Question is...), 質問時間は60分 (Question time is 60 minutes), 事前通告 (Advance notice...).

※国保連: 岩手県国民健康保険団体連合会



もとだて けんいち 議員

■旧新興製作所跡地の取得について

新興製作所跡地擁壁調査業務委託の結果に基づいて条件や環境がどのように整えば土地の取得に踏み切るのかを伺う。

A

上部平坦地のみを取得することは困難であり、下部平坦地を含めて一体で取得することが現実的である。また、当該土地を取得し、活用することとした場合に要する費用が17億1565万円であるとの調査結果となった。具体的活用計画がなく、有利な国庫補助金等が見込めない土地を取得することは現時点においては困難であるとの結論に至った。



■旧新興製作所跡地のガレキ処理の見通しについて

今後、何年間も旧新興製作所跡地にガレキを山積み状態にしておくのか。残置されているガレキ類の処理の見通しについて伺う。

A

県は残置されているガレキ類については産業廃棄物であるとの認識を示し、法律上の処理責任は解体工事受注者である株式会社光にあるとした。県の処理指導が今行われていることから、市が処理の見通しに答える状況にはない。株式会社光の処理計画に基づき、早急かつ適切に処理が進むように県に強く要望する。

■総合花巻病院について

令和5年10月下旬に、同病院の債務超過解消の状況を確認したとあるが、その際どのような助言をされたか伺う。

A

債務超過を解消する案を検討中と説明を受けたが、その根拠や状況が明らかでないことと申し上げた。このことに対する同法人の対応はなかった。その後11月中旬になって、同法人から令和6年3月末の債務超過額が10億円程度になる見込みとの報告があった。12月に

入り、市はこのままでは2期連続債務超過となり解散の可能性があると判断し、市独自に金融機関と情報交換を行い、財政支援の検討を金融機関と一緒を開始した。

■新花巻図書館の整備について

建設場所の第1候補地と第2候補地の比較検討資料は、市民にどのように周知していくのか伺う。

A

今後予定している意見集約の場で資料として活用するほか、試案検討会議や議員説明会で使用する。市広報や市ホームページなどを通じて市民の皆さんに分かりやすくお知らせしたいと考えている。



あべ かずお 議員

■農業問題について

市の有機・オーガニック農業の取り組みを伺う。

A

市は有機農業を進めるため今年度は計画策定や有機農業を広める講演会に取り組み。また環境負荷低減に取り組み農業者や、農業関係団体による有機農業推進組織として協議会を7月までに設立する。この協議会で有機農業の目標や事業内容を含む実施計画を策定し、その上で有機農業に地域ぐるみで取り組む産地であることを表明するオーガニックビレッジ宣言を今秋に行う。



■総合花巻病院について

総合花巻病院は病院移転整備に関する協定において市に事業実績などの定時報告を行うとした。市の検証について伺う。

A

市は令和5年7月11日に報告を受けた。公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律では、事業計画書、収支予算書、財産目録、役員等名簿、報酬などの支給基準等を整備し、同時に閲覧請求には正当な理由がない時は拒んでほならないと規定される。当病院は、これにより情報を公開している。



てるい めいこ 議員

■総合花巻病院について

市では総合花巻病院に対し建設時に19億円、さらに債務超過支援の5億円を補助した。今後の市のチェック機能強化について伺う。

A

財政状況の正確性を確認するためには、公認会計士など財政の専門家が病院提示の数字だけでなく、帳簿など調べる必要性があったが市にはその専門知識がなかった。今後同法人の経営体制を改善し、外部専門家のチェックを強くする必要がある。9月頃策定予定の事業再生計画で



体制の構築について同法人と協議をしている。

■省エネ家電購入支援について

奥州市では、省エネ家電買換促進補助を実施し市民から好評で省エネ効果についても公表している。市で実施する考えはないか。

A

現在、国において経済産業省、国土交通省、環境省が連携し、住宅省エネ2024キャンペーンが実施されている。現状において有効に活用されていることから、市として補助金の創設は考えていない。

■大迫地域の人口減少対策について

大迫地域への移住につながるような魅力発信の取り組みを行う考えはないか伺う。

A

花巻市の魅力や取り組みを伝えるポータルサイトまきまき花巻にて大迫のぶどうやワイン、早池峰神楽等の情報を発信しており、さらに市内での移住フェアなどで大迫の魅力をお伝えするとともに住宅支援策などの紹介や移住相談も行っている。

■地域特産品について

市内のワインや地酒、ジュースによる乾杯条例を制定する考えはないか伺う。

A

消費拡大にあたってはコロナ禍で売上の落ち込みやワインを飲む文化が希薄であることなどが課題ではあるが、市は乾杯条例に消費拡大の期待が持てないと考えており、条例の制定は現時点では考えていないが、地域特産品としての普及促進に努める。



はやま るみ子 議員

■総合花巻病院について

過去の議事録によると移転整備は花巻市側が主導で行ったとうかがえる。5億円の支援はその責務として行ったものか。また今後の市の対応を伺う。

A

市が病院に対して法律上、もしくは契約などに基づく財政支援の義務はない。一方、市には市民の命、健康を守るために市における医療体制を確保するという責務がある。今後、病院機能を高め、病院経営をしっかりとする上で、医師確保は重要であり、支援が必要と考えている。



■新花巻図書館について

平成28年1月策定の「病院跡地に建設する」という計画がそのまま進んでいたら市民の意見が二分されることなく、建設が遅れることがなかったのではないか。

A

旧総合花巻病院の解体・土壌改良が終了し、跡地を購入したのが令和6年3月である。建設場所候補地が1カ所であったとしても、建設工事が始まっている状況にはなかった。建設が遅れたという認識はない。一つの意見があることについては、対話型で将来のために考えていくべきだと思



こもり たかひろ 議員

■子育て支援施設整備について

Q

第二次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプラン(案)に記載の子育てを包括的に支援する拠点施設の検討状況について伺う。

A

本市で行っているアンケートや意見交換の結果から天候に左右されることなく室内で子供たちが遊び、子育てされる方々が気軽に集まれる施設整備の必要性を認識している。

今年度、担当部署で先進地視察を実施した上で具体的な施設の機能、立地について利用者の意見を聞きながら考えていきたい。



■産後ケア事業について

Q

産後ケア施設整備に向けた具体的な検討のため関係者との話し合いの場を構築する考えはないか伺う。

A

現在、産後ケア事業のデイサービスは利用者の増加に伴い4、5週間待ちの状況である。

より多くの方が必要な時期に産後ケア事業を利用できるようにするためサービスの拡充に向けた施設の移転と併せて検討する必要があることから、まずは受託者と具体的な方向性を確認した上で利用者を含めた広い範囲で話し合いを進める必要があると考えている。

■保育士確保対策について

Q

不足している保育士の確保対策は根本的には国の財政出動や制度改正が重要と考える。国や県に保育士確保の施策を求めるべき。

A

昨年6月、全国市長会において国に対して要望を行った。国の制度設計において、安定的な地方財源の確保、保育士の確保と処遇改善を図ることなどである。県に対しては同じく昨年7月、地方の保育士の処遇改善に向けた取り組みを要望しており、今後引き続き要望していく。

■借家住宅における保証人免除について

Q

高齢者において借家住宅における保証人確保が困難になってくる。入居に際して保証人を免除する考えについて伺う。

A

市においては公営住宅入居の際の保証人について、60歳以上の高齢者、障がい者、被災者、生活保護者、DV被害者、2親等以内の親族がいらないなどやむを得ない事情が認められるとき保証人を免除している。民間借家住宅においては住宅セーフティネット制度により、登録している民間賃貸住宅の多くが保証人を求めない状況となっている。



しおざき たかひろ 議員

■小中学校の隠れ教育費について

Q

副教材費は隠れ教育費とも呼ばれ無償化の枠から外れており、低所得保護者の大きな負担となっている。副教材等に購入支援の考えはないか伺う。

A

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対しては世帯収入基準を緩和した就学支援制度により副教材費や学用品の購入費を定額援助している。就学援助対象外の保護者への支援については、子育て支援の観点から財政支援の在り方について今後、他自治体の取り組みを参考にしながら研究していく。

■開かれた行政運営について

Q

第2回臨時会において招集が前日だったことや直前の議員説明会も事前に案件を示されず、報道陣にも公開されない異常事態だった経緯を伺う。

A

総合花巻病院は昨年11月の段階に令和5年度末の決算が約10億円の債務超過となることが判明し、2期連続での債務超過となると解散しなければならぬ危機的状況だった。非常に短期間での市と金融機関との支援策協議となったが情報漏えいにより同法人の信用不安が発生し再建が困難になることを回避する必要があったためにギリギリの判断になった。



にたない かずひろ 議員

■地域公共交通計画に基づく取組について

Q

花巻市に新たに導入する予定の予約乗合交通について伺う。

A

本年10月をめどに、交通空白地域の人口が5割を超えている花巻地域の移動手段の確保のため、矢沢地区、宮野目地区、湯本地区、湯口地区に予約乗合交通を導入する計画としており、6月以降各行政区において説明会を開催する予定である。説明会では運行内容を説明するほか、その場で利用申請の受け付けを行う予定としており、民生委員とも連携しながら周知を図りたいと考えている。

■公共施設マネジメント計画について

Q

公共施設の維持管理及び整備に関する新たな基金を創設する考えはないか伺う。

A

県内14市で公共施設の維持管理および特定目的基金を設置している自治体は7市あるが、いずれも大きな金額ではない。本市には財政調整基金、まちづくり基金が合計で約128億円あり、いずれも弾力的に活用運用することが可能なことから、新たに公共施設の維持管理および整備に関する基金の創設は、長期的に見れば可能性はあるものの、現在のところ考えていない。



■通学路の安全について

Q

小中学校の通学路安全確保について伺う。

A

毎年5月に市道路課から各学校へ通学路における危険箇所等について改善要望の報告を依頼し、花巻市通学路安全推進会議を開催している。子供たちが安心して通学できるようにこれからも、学校や地域、関係部署等と連携を図りながら、通学路の安全確保に取り組んでまいりたい。

■地域おこし協力隊について

Q

活動内容及び、期待される効果について伺う。

A

ぶどう農家として就農、伝統工芸の伝承と新商品開発や情報発信、観光施設を中心とした地域活性化に向けた活動等に取り組んでいる。これまでの社会人として活躍された経験と培ってきた知見を活かし、首都圏などからの移住促進や地域活動の担い手不足解消に効果が期待される。



すがわら ゆかり 議員

■難聴の高齢者等への窓口対応について

Q

難聴の高齢者等への窓口対応について軟骨伝導イヤホンを導入する考えはないか伺う。

A

全国では約50自治体が導入しており、市としては、耳が聞こえにくい方が安心して窓口に来ていただけるよう、市民サービス向上につながるものと思われることから、今後導入した自治体の事例等を参考にしながら軟骨伝導イヤホン導入について検討していく。

■ひとにやさしい駐車場利用制度について

Q

ひとにやさしい駐車場利用制度「パーキングパーミット制度(※)」について公共施設駐車場を登録する考えはないか伺う。

A

本市では、ひとにやさしい駐車場に登録された区画がないことから、制度の趣旨に鑑み、当該区画の不適正な利用の解消や障がいのある方等の利便性の向上のため、本制度の登録は有意義なことと考えられることから今後登録に向けた検討を行っている。



※パーキングパーミット制度：歩行が困難な方や移動の際に配慮が必要な方のための駐車区画について、対象者に利用証を交付することで、区画の適正利用を推進する制度。

花巻市議会議員報酬調査検討小委員会行政視察報告

4月24日に行政視察を実施しました。
 テーマ「議員報酬の改定について」
 ○岩手県一関市議会
 議員報酬の見直しに関して一関市議会では、議員活動量の増加や、類似団体と比較して報酬が低額であること、また報酬額が長年にわたり据え置きであることを踏まえ、報酬額を5万円増と定め、その金額の妥当性については、特別職報酬等審議会に委ねる手法が取られておりました。
 報酬等審議会からは、議員活動を支えるための経済的基盤となる適正な報酬水準は、他市との比較において一定程度均衡することが望ましいこと、また、平成23年から令和元年までの一関市民の所得が約13%上昇していることなどを参考に、5万円の増額は適当であるという答申があったとのことあります。
 また、議会改革に関する市民との意見交換会も実施して、議員報酬引き上げについても説明を行ったとのことあります。
 本市特別委員会委員では、適正な報酬の考え方や市民の意見を聞く一つの手法としてワールドカフェ形式の導入を検討することなどの議論につながっており、大いに参考になるものでした。

議会運営委員会行政視察報告

5月28日、29日に行政視察を実施しました。
 テーマ「議会運営について」
 ○岩手県遠野市議会
 ペーパーレス化は、令和5年12月から各種通知や議案等について実施し、今後予算書等について検討していくとのことでした。また、平成29年から導入した電子表決システムにより傍聴者・視聴者に結果が即時に表示され、分かりやすいと好評とのことでした。
 ○岩手県釜石市議会
 一般質問は総括質疑の方式で実施されており、再質問は時間内であれば何度でも可能とのことでした。また、アプリを活用して、常任委員会や議長等の日程を共有されているほか、災害時にタブレットを活用した議員の安否確認を行っているとのことありました。
 ○宮城県気仙沼市議会
 令和6年2月に全ての書類でペーパーレス化を実施しており、費用削減につながっているほか、議案審議においては、議案を担当委員会に付託し、審査の際に議員間討議を行うなど深掘りが図られていると感じました。このほか会派の代表質問を実施し、施政方針や予算に特化した質問を実施されていました。

広報研修会を実施しました

5月24日、岩手日報社の小野寺隼矢花巻支局長を講師にお招きし、広報特別委員会研修会を開催しました。
 研修会では、実際に発行された新聞を使い、クイズ形式で見出しの付け方や写真の選び方など受講したほか、他市町村議会の広報誌を参考にしやすい議会だより作成について研修しました。
 読み手の気持ちに立ち、手掛かりとしての見出しの文字数、付け方や概要がすぐ分かるリード記事の作成、写真のこだわり方について学ぶことができました。

今回の研修を生かし、今後の委員会においてより見やすく、分かりやすい議会広報誌の作成やホームページづくりに取り組んでまいります。



実際に発行された新聞を用いて、見出しの付け方や写真の選び方など研修しました。

花巻市議会と市民との意見交換会の申請を受け付けています

市民の皆様から多様なご意見を伺い、議会活動に反映させることを目的に、花巻市議会と市民との意見交換会を実施いたします。
 意見交換会の開催を希望される5名以上の団体等は、開催要領をご確認の上、申請書をご提出ください。



詳細は市議会ホームページをご覧ください

常任委員会等の活動報告

産業建設常任委員会

- ◆ 5月10日（金）
* 協議「政策提言について」
- ◆ 5月21日（火）
* 協議「政策提言について」
- ◆ 5月31日（金）
* 協議「政策提言について」
- ◆ 6月7日（金）
* 所管事務調査「公共交通の課題とその解決策について」
- ◆ 6月20日（木）
* 協議「政策提言について」
- ◆ 7月4日（木）
* 政策提言書提出



議会改革推進会議

- ◆ 6月21日（金）
* 花巻議会基本条例に基づく活動の検証について

産業建設常任委員会 政策提言書を提出しました

7月4日、「持続可能な公共交通の確保に関する政策提言書」を、議長より市長へ提出しました。
 産業建設常任委員会では、令和4年8月の改選以降、各委員が捉えている市政の課題を持ち寄り、花巻地区タクシー協同組合と意見交換するなど、調査・研究、行政視察を行ってきました。
 その結果を踏まえ、委員会でワークショップを開催し、合意形成を図ることで委員会としての考えを取りまとめ、本市の施策に反映してもらうよう提言しました。
 ※提言書の内容については、市ホームページに掲載しています。



（左から）上田東一市長、藤原伸議長、伊藤盛幸産業建設常任委員会委員長

総務常任委員会

- ◆ 6月19日（水）
* 所管事務調査「悪臭公害対策について」

文教福祉常任委員会

- ◆ 6月19日（水）
* 第4号請願「5歳児健康診査の早期実施について」
▽審査結果・・・採択
- * 第5号請願「現行の健康保険証を残すことを求めることについて」
▽審査結果・・・不採択
- * 第6号請願「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善を図るための、2025年度政府予算に係る意見書の提出を求めることについて」
▽審査結果・・・採択
- * 意見書発議「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合の引き上げを求める意見書」

請願審査

6月定例会では、文教福祉常任委員会が3件の請願審査を行い、採択および不採択を決しました。

◆第4号請願(採択)
5歳児健康診査の早期実施について

審査において「5歳児健康診査によって発達障害などへの早期対応に繋げることができると「保護者の方も健康診査の結果ということで納得してくれる」「子ども家庭庁より通知され予算もついている、市としても早期実現に努めるとしている」また「早期実現に向けて保育所側と市当局との間でしっかりと協議をしてほしい」との意見がありました。採決の結果、全会一致で採択すべきと決しました。

◆第5号請願(不採択)
現行の健康保険証を残すことを求めることについて

審査において「花巻ではひも付けでの事故は起きていない。また、デジタル化を進める必要がある」「現行保険証に代わる資格確認書は市の職権で発行するとしている」「マイナ保険証のメリットがある、現行保険証を残し続けることは疑問」との意見がある一方で「市

でマイナ保険証の登録をしていない方は約4割いる、この背景にはマイナ保険証のトラブルなどの不安があるからだ」「現行の保険証を引き続き活用することが一番合理的である」との意見がありました。採決の結果、採択に賛成する委員は少数であり、不採択と決しました。

◆第6号請願(採択)
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善を図るための、2025年度政府予算に係る意見書の提出を求めることについて

審査において「国庫負担率は地方6団体が税源移譲を要望して決定したことであり、負担率の変更は矛盾がある」「定数改善の計画的な改善の具体的な説明がない」といった意見のほか「そもそも定数が定員数に達していないことは問題であり改善すべき」「いじめ、不登校の増加、感染症対策など教育課題が多数になり、複雑化しているという状況の中で、教員の負担は増加し続け、精神疾患の教員も増えている。教職員の定数改善待たなしの状況である」さらに「現実的に財源の余裕のある自治体とそうではない自治体がある、国庫負担割合復元の要望は妥当」との意見がありました。採決の結果、請願事項1、2ともに賛成多数で採択すべきものと決しました。

※請願全文は市ホームページに掲載していません

意見書を提出

◆職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合の引き上げを求める意見書

学校現場では、いじめ、不登校、別室登校、貧困、複雑な家庭環境など多様化・細分化しています。これらの問題に対応するためには、子供たち一人一人の気持ちに寄り添ったより細やかな指導が必要ですが、十分な人員は配置されていません。豊かな学びや学校の働き方改革を実現するためには、教職員の増員や少数職種配置増など、教職員定数改善が不可欠です。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置を行っている自治体もありますが、地方自治体の財政を圧迫していることや自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。子供たちが全国のどこに住んでも、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であることから、子供の豊かな学びを保障するための条件整備は不可欠です。

- 1 こうした観点から、2025年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう強く要望いたします。
- 2 計画的な教職員定数の改善を図り、教職員がゆとりをもって子供たちに寄り添うことができる人員配置をすること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

※意見書全文は市ホームページに掲載していません

令和5年度 花巻市議会政務活動費執行状況

花巻市議会では、「花巻市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。政務活動費の額は、花巻市議会の場合、議員一人当たり月額2万円で、毎年4月1日に在職する議員に対して、1年度分(24万円)が一括して交付されています。また、政務活動費の収支報告書の提出にあたっては、議会内の取り決めで、原則領収書をつけて報告することとしており、その内容についてはどなたでもご覧いただけます。花巻市議会が条例で定めている政務活動費を充てることのできる項目については、下記のとおりです。また、花巻市議会では、政務活動費の用途の透明性を確保するために政務活動費の執行状況を市議会だよりおよび市ホームページへ掲載しています。

- 研究研修費・ 議員が研修会等を開催する(参加する)ために必要な経費【例:講師謝金、会場使用料、旅費等】
- 調査旅費・ 議員が行う調査研究活動のために必要な経費【例:交通費、宿泊費等】
- 資料作成費・ 議員の活動のために必要な資料の作成に要する経費【例:印刷製本代、事務機器購入・リース代等】
- 資料購入費・ 必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費・ 議員活動や市の政策についてPRする経費【例:議員広報紙、報告書の印刷費等】
- 広聴費・ 住民から市への要望や意見を聴取するための会議等にかかる経費【例:会場費、茶菓子代等】
- 人件費・ 議員の調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費・ 活動のために必要な事務所の設置・管理に要する経費【例:事務所の賃借料、維持管理費等】
- その他の経費 上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費【例:事務連絡に要する切手代、事務消耗品】

※交付額を超えた執行額は自己負担です。これに満たない分は市に返還しています。

(単位:円)

会派	議員名	交付額	執行額	内 訳							
				研究 研修費	調査 旅費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	事務所費	その他 の経費	
明和会	及川 恒雄	240,000	153,103		46,700		79,606				26,797
	伊藤 忠宏	240,000	390,560		47,260		83,400	139,900	120,000		
	藤根 清	240,000	218,588	55,000	46,700	11,060	91,476				14,352
	小原 保信	240,000	244,259		47,060		74,453	94,600			28,146
	横田 忍	240,000	288,720		46,520		55,200	187,000			
	盛岡 耕市	240,000	133,660	43,260	4,000		86,400				
	佐藤 峰樹	240,000	233,865		46,520		83,400	103,945			
	高橋 修	240,000	164,280		80,880		83,400				
市民クラブ	羽山るみ子	240,000	351,470				83,400	268,070			
	佐藤 現	240,000	68,490				56,760			11,730	
	内館 桂	240,000	245,097	46,300	32,180		64,500	95,750		6,367	
緑の風	本館 憲一	240,000	284,610				93,100	191,510			
	小森田郁也	240,000	179,749	69,860	32,180		72,959			4,750	
	鹿討 康弘	240,000	262,742	89,560	32,180		54,102	86,900			
社民クラブ	似内 一弘	240,000	182,014	133,480			29,340	5,700		13,494	
	伊藤 盛幸	240,000	250,825	147,090			59,950	42,900		885	
	照井 省三	240,000	165,600				40,800	124,800			
市議会議員団	若柳 良明	240,000	120,865				120,865				
	阿部 一男	240,000	121,944	900			110,174	3,300		7,570	
	久保田彰孝	240,000	130,756				79,056	51,700			
会派を構成していない議員	照井 明子	240,000	260,628				91,488	169,140			
	櫻井 肇	240,000	102,515	32,000	36,940		23,610			9,965	
	佐々木精市	240,000	158,199		47,080		96,410			14,709	
	大原 健	240,000	224,820				126,920	97,900			
	菅原ゆかり	240,000	174,163		57,200		93,410			23,553	
	藤原 伸	240,000	131,960		47,060		84,900				

※抜粋して掲載しています。詳細はホームページをご覧ください。



こがわくち ゆめか
小川口 夢香さん
(花北青雲高校3年)

花巻市の未来へ ちょっと一言。



おがさわら ゆうた
小笠原 悠太さん
(南城)

小さな提案、確かな未来

私は、生まれ育ったこの花巻市で今後も暮らしていきたいです。そして、そう思ってくれる人が増えてほしいと考えています。よって、私は次のことを提案します。まず、市民の安全についてです。私たち青雲生の多くは電車通学をしており、駅と学校間は徒歩です。その途中、街灯や歩道が少なかつたり、整備されていない道があったりと危険です。次に、活動の周知について提案します。花巻市には魅力的なモノ、コト、それを発信するツールがあるにもかかわらず、他の地域に伝わっていないように感じます。私たち若者から、情報ツール等を積極的に活用し魅力を発信することに加え、駅や空港等と協力し、全国や世界の人々へ花巻市の魅力をもっと広めるべきだと思います。

子供が夢と希望を持てる花巻に

花巻を考えてみると市政が抱える課題も多いと考えている。その中で子供たちには、たくさんの大きな夢と希望を描いてほしい。今秋「オーガニックビレッジ宣言」される。オーガニック食材を利用し、給食費の無償化など経済面での子育てサポートの実現を目指す。また、わが市には他の地域には無い富士大学があり教育的に恵まれた環境を生かし大学と連携をして、交流等もよい経験となると思う。経済的理由で、進学を諦める事が無いように市独自の返済不要の奨学金など教育の平等化を実現すべきだ。夢を実現し世界へ羽ばたいた菊池雄星投手のように、夢を応援できる市になってほしい。

議会の動き

5月～7月

- 5月8日 議会運営委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会
- 24日 広報特別委員会
- 31日 産業建設常任委員会
- 6月4日 議会運営委員会
- 6月7日～25日 令和6年第2回定例会
- 7日 議会運営委員会、議員全員協議会、
広報特別委員会、産業建設常任委員会
- 12日 広聴特別委員会
- 18日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 19日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 21日 広聴特別委員会、花巻市議会議員報酬調査検討
小委員会、議会改革推進会議
- 25日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 7月2日 広報特別委員会
- 8日 広聴特別委員会(モニター会議)
- 10日 広報特別委員会
- 18日 広報特別委員会
- 23日 広聴特別委員会
- 29日～31日 市民と議会との懇談会

議会傍聴にぜひお越しを！！

- 【6月定例会】
本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 35人
- 【9月定例会】
9月6日(金)開会
詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。
また、えふえむ花巻 FM Ode 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。
議会事務局 0198-41-3598 (直通)

ご冥福をお祈りいたします

大原健議員が去る6月16日に逝去されました
心よりご冥福をお祈り申し上げます



- 【広報特別委員会】
委員長 羽山るみ子
副委員長 小原 保信
委員 小森田 郁也
鹿討 康弘
及川 恒雄
伊藤 忠宏
佐々木 精市
櫻井 肇
阿部 一男